

色
の
ひ
と
り
が
そ
ん
な
「
ド
ー
ナ
ツ
型
」
の
発
想
を
持
と
う。
自
分
一
人
の
ス
キ
ル
や
可
能
性
が
拵
が
る
こ
と
も
あ
る。
自
分
と
つ
な
が
り、
「
重
な
る
」
こ
と
で、
自
分
の
可
能
性
が
拵
が
る
こ
と
も
あ
る。
自
分
と
つ
な
が
り、
「
重
な
る
」
こ
と
で、
自
分
一
人

官・民が合わさり実現した武雄市図書館のように、**両者の重なりに「ドーナツ」はできる。業務を明確に分けるほど、重ならず「ドーナツ」は生まれない。**成長企業の多くが取り入れる人事政策は、業務責任範囲の明確化をいかに外していくかというもの。(◎林)

チーム内できれいに役割分担してしまうと、重なりがなくなる。刺身型と言うらしいが、少し重ねることが重要。**重なっている部分で、関心が生まれ、競争が生まれる。**(◎大久保G)

プロジェクトが揉めるのは、背景や目的といった大きな方向性が共有されていないとき。**役割分担を明確化すれば解決されることではなく、共有することが重要。**それがあれば、多少ずれても日本人はカバーしあえる。(◎林)

責任範囲を明確にして完全分業制にするのではなく、職務と職務をわざと重ね合わせることで、新しいアイデアが生まれる。(◎林)



武雄市図書館～「組み」生まれた一つのかたち～
(第6回懇談会 事務局資料)



自分の個性や可能性はドーナツの輪
～真ん中に何もなくても誰かと出会い拵がる可能性～